

第 1 部

緑区制50周年を迎えて

第1章 50周年記念事業

緑区制50周年記念式典・交流会

記念式典

平成25（2013）年5月18日（土）、緑区制50周年記念式典が緑文化小劇場において開催されました。会場には318名の来賓・感謝状受賞者・招待者、緑区制50周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」といいます）委員が一堂に集い、ともに区制50周年を祝いました。

記念式典次第

<第一部>

1 オープニングイベント	5 来賓祝辞
2 開式の辞	6 来賓紹介
3 主催者あいさつ	7 区長謝辞
4 感謝状贈呈	8 閉式の辞

式典は二部構成で、第一部は、緑区出身の津軽三味線奏者 山口晃司さんによる演奏で幕を開けました。



大角輝夫実行委員会副会長の開式の辞に続き、主催者を代表して尾藤宗男実行委員会会長があいさつを述べました。

その後、永年にわたり市、区政の運営に多大な協力をいただいた方々（市長感謝状43名、区長感謝状146名、実行委員会会長感謝状110名）に、河村たかし市長、黒川和博緑区長及び尾藤宗男実行委員会会長からそれぞれの代表者へ感謝状と記念品が贈られました。



続いて、来賓の河村たかし市長、藤田和秀市会議長及び緑区公職者代表の中村友美県会議員から緑区制50周年式典に寄せて祝辞をいただき、黒川和博緑区長による謝辞、最後に大角輝夫実行委員会副会長の閉式の辞をもって、第一部は終了しました。



記念式典次第

<第二部>

緑区の魅力発見・発信

- 1 みどり・ムービー・コンテストグランプリ作品の上映
- 2 緑区わがまち 俳句・川柳コンクール表彰式
- 3 「みどりっちのうた」と総踊り

第二部は、第一部に続き、「大好き緑区！みどり・ムービー・コンテスト」作品の上映で幕を開けました。CM部門グランプリ作品、短編部門グランプリ作品「ミドリクエスト」の上映に続き、短編部門グランプリ受賞者「STUDIO響（ひびき）」（区内在住の高校生4名）及びコンテスト審査員の映画監督 林一嘉さんへのインタビューも行われました。





「緑区わがまち 俳句・川柳コンクール」の作品紹介と表彰式が行われました。俳句・川柳各部門の最優秀作品と、子ども部門優秀作品の中から1作品がナレーション、映像などで紹介され、各部門の代表者へ黒川和博緑区長と尾藤宗男実行委員会会長から表彰状と賞金が授与されました。



最後に、「みどりっちのうた」の歌と踊りが披露されました。舞台中央に並んだCDの吹き込みをした歌い手の皆さんの歌にあわせて、壇上で、みどりっち、みどりっちシスターズ、ダンスサポーター、黒石保育園児の皆さんが、客席では、MDR23のメンバーが通路いっぱいになり「みどりっちのうた」の踊りを披露しました。



客席の皆さんも「みどりっち」の掛け声とハイタッチのポーズで参加し、会場一体が笑顔と熱気に包まれる中、区制50周年記念式典のプログラムが終了しました



交流会

記念式典終了後、会場を金山のANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋に移して、午後5時から195名の招待者を集め、交流会が催されました。

交 流 会 次 第

- | | |
|---------|-----------|
| 1 開会の辞 | 5 アトラクション |
| 2 あいさつ | 6 中締め |
| 3 乾杯 | 7 閉会の辞 |
| 4 食事・歓談 | |

開会にあたり、主催者を代表して牧野彰夫実行委員会副会長のあいさつがあり、続いて前川隆男実行委員会副会長からの乾杯の発声を皮切りに、交流会が盛大に始まりました。



歓談の途中では、アトラクションとして、記念式典にも出演いただいた津軽三味線奏者 山口晃司さん率いるユニット「山口晃司三絃会」による演奏が披露され、会場は一層の盛り上がりを見せました。

祝宴は、時間の許す限り、思い出話などに花を咲かせていただき大いに盛り上がりましたが、加藤達芳実行委員会副会長の中締めで、なごりを惜しみながらお開きとなりました。



緑区50年のあゆみ展 ～古（いにしえ）に学びそして未来へ～

緑区制50周年を記念して、「緑区50年のあゆみ展 ～古（いにしえ）に学びそして未来へ～」が大正ロマンの面影を残す名古屋市市政資料館（旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎）で開催されました。これは50年という節目の年を機に、より多くの方に緑区の歩みや魅力を知ってもらおうと、市政資料館との共催により行われたものです。

あゆみ展では、今昔写真や書物、さらには市政資料館所蔵資料などの展示により、緑区の礎となった時代から現在までのめざましい成長と発展の軌跡などが紹介され、訪れた方からは「懐かしい写真があり楽しめた」や「今昔の変わりように驚いた」など記念展示を楽しむ声が聞かれました。

開催期間：平成25（2013）年5月8日（水）～6月7日（金）

会 場：名古屋市市政資料館（東区白壁一丁目3）

3階 第1一般展示室、第2一般展示室、第3一般展示室

来場者数：5,830人

<第1一般展示室 ～緑区50年のあゆみ～>

緑区の誕生から現在までの成長と発展の軌跡をパネルや今昔写真で紹介しました。あわせて、学区の変遷や人口動向などによる緑区の動きや、各学区の特色を紹介するなど、緑区の歴史と魅力をわかりやすく伝えました。



＜第2 一般展示室 ～緑区のむかし～＞

貝塚などから出土した貝や陶器をはじめ、東海道や桶狭間の戦いの様子を描いた版画、緑区特産の有松・鳴海紋りに関する書物などを展示し、緑区の礎となった時代を振り返りました。



5月9日（木）には大村秀章愛知県知事（写真手前から2人目）が来場され、一点一点熱心に鑑賞されてみえました。

＜第3 一般展示室 ～市政資料館所蔵資料展～＞

名古屋市と鳴海町の合併や緑区の誕生を祝う祝賀会に関する公文書、当時の地図、新聞記事をはじめ、尾張名所図会や尾張国愛知郡誌などから緑区に関する絵図や記述を紹介しました。



市政資料館での記念展示終了後も、より多くの方々に区内各地の懐かしい姿に思いを馳せていただくとともに、緑区への愛着をさらに深めてもらえるよう、区内5会場で巡回展示を行いました。

（区内巡回展示）

回	開催期間	会場
第1回	平成25年8月1日（木）～8月16日（金）	緑区役所 2階 ほっとスペース
第2回	9月4日（水）～9月11日（水）	ユメリア徳重 区民ギャラリー
第3回	9月18日（水）～9月29日（日）	なるぱーく
第4回	10月16日（水）～10月23日（水）	緑図書館
第5回	11月1日（金）～11月10日（日）	緑スポーツセンター

「みどりっちのうた」の制作と踊りの普及

「みどりっちのうた」は、緑区制50周年を機に、盆踊りや各種イベントなどで子どもからお年寄りまで誰もが踊ることができ、緑区に「誇り」と「愛着」を持って「絆」を深められるもので、“区民が一つになれる歌”をつくろうとの趣旨から制作されました。

歌詞は広く全国から募集し、北は北海道から南は鹿児島まで、173名から219点の作品の応募がありました。厳正な審査により、東京都杉並区の佐藤有弘さんの作品が最優秀作品として選ばれました。佐藤さんの作品に、緑区に縁のある日本舞踊西川流師範の西川千雅さんに曲と踊りを付けていただき、「みどりっちのうた」が誕生しました。

歌詞は1番から5番まであり、1番は「みどりっち」のPRを、2番は緑区の自然を、3番と4番は緑区の史跡・文化・伝統を、5番は緑区の未来への希望をテーマにした内容となっています。この歌と踊りは、平成24（2012）年10月27日（土）に開催された緑区区民まつりで、華やかに初披露されました。



その後、踊りを広く知っていただくため平成24（2012）年11月から翌年3月までの間、希



望者を募り区民向け講習会を5回開催しました。延べ300余名の参加があり、講習会の参加者の中から区内の各種イベントや各地域で率先して踊っていただくことを希望する約100名の方に「みどりっちダンスサポーター」として登録していただきました。また、子どもたちへの普及の一環として区内保育園にみどりっちが訪問をし、園児たちと一緒に踊りました。

平成25（2013）年5月18日（土）の緑区制50周年記念式典第二部では、みどりっちダンスサポーターや保育園児たちの踊り披露により緑区の魅力を発信し、会場が一体となりました。その後も“緑区”や“みどりっち”の応援団「みどサポ」を中心とする緑区民の有志で結成された「緑区制50周年 みどりっち」チームが誕生し、名古屋の夏の風物詩である「にっぽんど真ん中まつり」に初出場し、「ダンシングみどりっち」の華麗な踊りとともに、「みどりっちのうた」をアピールしました。8月10日（土）に開催された区制50周年メインイベント「感動・夢まつり」では、初心者向けの講習会を行い、子どもからお年寄りまで区民が大きな輪になり、総踊りを楽しみました。その後も、区民まつり会場での総踊りのほか、各地域のさまざまな場面で「みどりっちのうた」・踊りが披露されています。緑区の魅力があふれた「みどりっちのうた」は、これからも区民がひとつになれる歌・踊りとして、多くの方々に永く歌い踊り継がれていくことでしょう。



みどりっちのうた

作詞：佐藤 有弘

作曲・編曲：西川 千雅

うた・三味線：西出 百合香

かけ声：市川 智也

うた：眞谷 幸奈、稲垣 良行、山田 幸誠 (kids heart プロモーション)

1. みどりの^{あたま}頭に^{わかば}若葉が^は映える
^{しほ}絞りのマフラー ^めつぶらな目
^{まち}この街ひろめる ^{かんこうたいし}観光大使
^{だいす}大好き ^{みどりく}緑区 ^{みどりっち}みどりっち

4. お酒と神話の^{さけ}^{しんわ}大高浪漫^{おおたかろまん}
^{きんせ}近世の^{あけぼの}曙 ^{おけはざま}桶狭間
^{かがや}輝く歴史と ^{しせき}史跡と文化^{ぶんか}
^{つた}伝えて行こうよ ^ゆみどりっち

2. 春には^{はる}桜^{さくら}よ 秋には^{あき}楓^{かえで}
^{きせつ}季節を^{いろど}彩る ^{おおぎがわ}扇川
^{しばふ}芝生が^{ひろ}広がる ^{おおたかりよくち}大高緑地
^{いっしょ}一緒に遊ぼう ^{あそ}みどりっち

5. 伸び行く^の徳重^ゆ 新たな^{とくしげ}歴史^{あら}
^み皆んなで^{しあわ}幸せ ^{きす}築く街^{まち}
^す住みよい^{みどりく}緑区 ^{あか}明るい^{みらい}未来
^み皆んなでつくろう ^{みどりっち}みどりっち

3. 有松^{ありまつ} 鳴海の^{なるみ} 絞りの^{しほ}里は^{さと}
^や家並みに^{いき}息づく ^{とうかいどう}東海道
^{でんとうささ}伝統支える ^{だし}からくり山車だ
^ひそれ曳け^{はや}囃せよ ^{みどりっち}みどりっち

1. みどりの あたまにー わかばが はえ る

しほりの マフラー つぶらな め

この まち ひろめる かんこうたいしー

だいすき みどりく みどりっち

感動・夢まつり ～ふれあいと絆でつなぐ未来へのみち～

平成25（2013）年8月10日（土）、緑区制50周年記念事業メインイベント「感動・夢まつり」が青空のもと大高緑地の野球場で盛大に開催されました。当日は猛暑続きの最中にもかかわらず、区内外から32,000人が、大高緑地始まって初めての夜間イベントに集い、区制50周年を一緒に祝い、感動と夢を分かちあいました。

ステージスケジュール

15:05	どまつりチーム 「緑区制50周年 みどりっち」初演舞	16:45	千龍（和太鼓演奏）
		17:00	MDR23（ダンス）
15:10	緑区どまつりチーム大演舞 Meetia、桶狭間歌舞人、戸笠の風、藍流、鳴子調、 華★d.m.t、神～JiN～、煌☆、鳴海商工会 狸々	17:15	桶狭間太鼓（太鼓演奏）
		17:30	チームおけわんこ（ギター・鳴子踊り）
15:55	緑高校ダンス部（ダンス）	17:45	盆踊り
16:05	鳴海高校家庭科部（ファッションショー）	18:00	オープニングセレモニー
16:20	美土里フォークス（和太鼓演奏）	18:20	山口晃司（三味線演奏）
16:35	Miracle Voices（ゴスペル風コーラス）	18:35 ～ 21:00	盆踊り＆「みどりっちのうた」総踊り

午後3時、にっぽん全国に「みどりっち旋風」を巻き起こそうと2歳から最年長82歳までの緑区の有志合計80人と「みどりっち」で結成された、どまつりチーム「緑区制50周年 みどりっち」による演舞の初披露で「感動・夢まつり」は幕を開けました。



最高気温が37度を超える日となりましたが、うだるような暑さの中、特設ステージでは、緑区に縁のある多くの団体が出演し、演舞やダンス、太鼓の演奏、コーラスやファッションショーなど、バラエティ豊かなパフォーマンスが繰り広げられました。



ステージ以外の場所でも、さまざまなイベントが催され、会場のあちこちで人の輪ができていました。

区民の笑顔を集め、みどりっちと緑区の風景を表現した、縦3.6m×横4.5mの巨大なモザイクアートが会場に飾られました。鳴海高等学校と緑高等学校の生徒が、9,000人以上の笑顔の写真を撮り制作してくれたもので、多くの来場者が足を止めて感心して見上げていました。



会場の一角には大道芸人パフォーマンスエリアが設けられ、まつりを盛り上げました。独楽が得意な独楽太郎と火を操る男女コンビ TSUN・TSURU・TENの二組の大道芸人が登場し、次々と繰り広げられるパフォーマンスに多くの人が楽しそうに見入っていました。

会場中央に設置されたオーロラビジョンでは、180インチの大画面を通してステージの様子や緑区の魅力映像などが放映されました。



会場には50周年にちなんで50以上の出店が並びました。竹灯籠や絞り体験など緑区ならではの店もあり、まつりににぎわいを添えていました。



日が陰り始めた午後6時、来賓の方々と緑区制50周年記念事業実行委員会の役員がステージに登壇し、オープニングセレモニーが行われました。尾藤宗男緑区制50周年記念事業実行委員会会長のあいさつに続き、来賓の入倉憲二副市長、緑区公職者代表の中村友美県会議員からそれぞれの思いがこもったあいさつがありました。



オープニングセレモニーの最後には、点灯式が行われました。黒川和博緑区長とみどりっちがステージのスイッチに手を触れると、会場の提灯の灯りが一斉にとり、夜まつりがスタートしました。

会場周辺の遊歩道には、市民団体「花水緑の会」の大高竹の会の協力により、大高緑地で間伐した竹に区民が「50年後の夢」を描いた2千本の灯籠が、光の道「夢“50”プロムナード」として飾り付けられました。



点灯式と同時に、この竹灯籠にも灯りがとり、夜の大高緑地に幻想的な光景が出現しました。



夜まつりのメインを飾るのは夏の風物詩、盆踊りです。子どもから高齢者まで誰もが歌い踊ることができる歌として昨年誕生した「みどりっちのうた」や、炭坑節・名古屋ばやしなど、お馴染みの曲に合わせ、参加者はひとつになって会場せましと踊りました。



やぐらの周りには大きな円ができ、大人から子どもまで、皆、思い思いに盆踊りを楽しんでいました。



盆踊りの合間には、みどりっちが浮き出る仕掛け花火、勇壮な手筒花火、色とりどりに会場を染め上げるスターマインが打ち上げられ夜空に歓声とともに彩りを添えました。



どまつりチーム「緑区制50周年 みどりっち」

平成23（2011）年10月の区民まつりでお目見えした緑区のマスコットキャラクター「みどりっち」。平成24（2012）年の同じく10月の区民まつりで「みどりっちのうた」と踊りが完成し、区制50周年となる今年、平成25（2013）年夏・東海地方のおまつりでは最大の観客動員数を誇る「にっぽんど真ん中祭り」の舞台に、我らが「みどりっち」が立ち、高らかに歌い、そして華麗に舞い踊りました。



子やボランティアスタッフとして参加しました。

チーム名は「緑区制50周年 みどりっち」。80人のメンバーの特徴は、年齢差が何と80歳という点です。構成は、“緑区”や“みどりっち”の応援団「みどサポ」が中心となり、24（2012）年度に踊りの講習会に参加した「ダンスサポーター」の皆さんや、トワイライトスクールで鳴子踊りを練習している子どもたちとその親など。また区役所、保健所の職員も踊り

緑区が何より心強いのは、「どまつり」では、緑区を本拠地とするチームの数が、毎年トップクラスであることです。平成12（2000）年、18（2006）年、20（2008）年と大賞を受賞し、近年でも24（2012）年、25（2013）年と2年連続準どまつり大賞の「鳴海商工会 猩々」のメンバーを始め、この「どまつり」のまち『緑区』の皆さんに支えられて、「緑区制50周年 みどりっち」が動き出しました。



8月23日（金）の前夜祭から25日（日）の最終日まで、久屋大通公園メインステージや鳴海パレード会場など、延べ8会場、計21回の演舞を披露しました。

夜空に映えるカクテル光線のステージで、また、どしゃ降りの雨の中でも、チーム全員、心を込めて、ひたむきに楽しんで踊りました。



大賞には届かなかったものの、「鳴海パレード会場賞」を受賞。区制50周年を迎えた緑区の魅力をうたと踊りで広く発信できたのではないのでしょうか。



そして初登場の「ダンシング・みどりっち」が、観客の視線を釘付けにしました。「老若男女、誰もが踊れる、緑区のうた」として制作されたこの歌・踊りが、チームのみんなと、23万人の思いが重なって、まち中に響き渡る幸せな空間が、そこにはありました。

「まちづくり隊長」「観光大使」「50周年盛り上げ隊長」…「みどりっち」の肩書がすべて詰まった、そんな記念事業でした。



祝50周年！ みどり・シティ・フェスティバル2013 ～大空へ飛び立とう！夢と感動を乗せて！～

平成25（2013）年10月26日（土）、県営大高緑地を会場に、緑区区民まつり「祝50周年！みどり・シティ・フェスティバル2013 ～大空へ飛び立とう！夢と感動を乗せて！～」が開催されました。このイベントは、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るとともに、活気にあふれ発展する緑区の魅力を、より多くの人に発信しようと毎年開催される区内最大級のおまつりです。

今年は、前日までの台風の影響により、開催が寸前まで危ぶまれましたが、区民みんなの願いが通じたのか、まつりが始まる頃には雨も上がり、ふれあい広場・わくわく広場・梅林会場などのエリアごとに、吹奏楽の演奏、緑区歩け運動の会、クラウンミニサーカスのパフォーマンスショーなど毎年恒例のイベントやステージでの催しが繰り広げられ、約56,000人の区民が、秋の一日を楽しく過ごしました。

午前10時、来賓の方々と緑区区民まつり実行委員会の役員がステージに登壇し、オープニングセレモニーが行われ、まつりが華々しく開幕しました。



当日のステージに出演する小・中学生と社会人、さらには飛び入り参加の方も加わって、緑区合同バンド演奏が披露されました。区制50周年を祝福し、ベートーヴェンの「歓喜の歌」などが演奏され、多くの来場者を魅了していました。

今年も会場には多くの飲食ブースが軒を連ね、青空の下、広場に設置された椅子とテーブルは常に大盛況でした。



今年はさらに区制50周年を迎えた記念のまつりとして、会場全体で節目の年を祝い、喜びを分かち合えるような新たな催しも企画されました。

■ 緑区制50周年特別ステージ みどりっちビッグスライドショー

今年の区民まつりのサブタイトル「大空へ飛び立とう！夢と感動を乗せて！」にちなみ、会場上空にカメラを搭載したアドバルーンを飛ばし、広大な大高緑地を撮影し、ライブ映像で会場のモニターに上映する企画が予定されていましたが、台風の影響から、中止となりました。

それに伴い、区内の小・中・高校生を中心とした約500人の区民が、50周年をお祝いする10メートル四方の巨大な『祝』・『緑区50周年』・『みどりっちのイラスト』が描かれた絵や文字が切り替わるボードを大空へ向かって掲げ、上空のアドバルーンから撮影する「みどりっちビッグスライドショー」も残念ながら中止となりました。



■ ～緑区スイーツ～「みどりっちのお・や・つ」の販売



緑区制50周年を記念して開催された「みどりっちスイーツコンテスト」でグランプリを受賞した作品が区内洋菓子店の協力により「みどりっちのお・や・つ」として商品化され、限定販売されました。アイデア溢れるおいしそうなお菓子里に多くの人が訪れ、にぎわいをみせていました。

■ 「みどりっちのうた」による総踊り

子どもから高齢者まで、誰もが歌い、踊ることができ、区民がひとつになれる歌として誕生した「みどりっちのうた」。その初披露から1年が経ったこの日、1年前と同じ会場で「みどりっちのうた」による来場者を巻き込んだ総踊りが、今年の区民まつりを締めくくるイベントとして盛大に行われました。

今回は、50周年を機に結成された「緑区制50周年 みどりっち」をはじめ、準どまつり大賞を受賞した「鳴海商工会 猩々」など、今年のにっぽんど真ん中まつりに出場した、緑区を本拠地とする個性豊かな全10チームが参加し、夏のどまつりの勢いをそのままに、会場を大いに盛り上げてくれました。



地方車（じかたしゃ）の先導により、どまつりチームが会場を華やかな衣装でパレードしながら、総踊りの場となるメインステージを目指しました。



総踊りでは、ステージ上に「ダンシング・みどりっち」も登場し、どまつりチームのメンバーと来場者とが一体となって50周年をお祝いし、次の50年に向けて、夢と感動を大空へ放ちました。



緑区防災フェスタ ～23万人の絆～

平成25（2013）年11月17日（日）、緑区制50周年記念事業クロージングイベントの1つとして、「緑区防災フェスタ～23万人の絆～」が緑区役所にて開催されました。

年齢・性別を問わず、誰もが楽しみながら気軽に参加できる体験型プログラムを中心に、普段からの備えや災害時に役立つ知識として「生きるためのスキル」を身につけていただくことを目的とした防災・減災イベントを目指し、区内官公所（署）を始め、ライフライン関係機関、事業者、ボランティア団体、教育機関にも参加を呼び掛けた結果、28団体の協力を得ることができました。

午前10時、尾藤宗男緑区制50周年記念事業実行委員会会長、黒川和博緑区長、坂野正典緑消防署長によるあいさつで、緑区防災フェスタは幕を開けました。



屋内会場の区役所講堂では、アルファ化米やパスタ、パンの缶詰、備蓄可能な野菜ジュースなどの非常食の試食を始め、災害用伝言版サービス、住宅耐震診断、地形や土地の用途の移り変わりを検索できる今昔マップなど、様々な視点から防災・減災への理解と備えを紹介するブースが数多く出展され、熱心に説明を聞く姿が多く見られました。





AEDトレーナーを使用した救命講習では、区内の消防団員による懇切丁寧な指導のもと、参加者も熱心、積極的に受講していました。

また、講堂入口のロビーでは、地震直後の家屋内を想定した停電体験「ぐちゃぐちゃの家」や感染症防止を目的とした手洗いトレーニングの実技指導も行われました。



屋外会場の区役所駐車場には、消防車やユニモグ（多目的作業用自動車）、給水タンク車など大型の特殊車両が並び、子ども向けの制服試着体験や最大震度が体験できる起震車が人気を集めました。



会場内では、午前と午後の1回ずつ、一斉のシェイクアウト訓練が実施されました。これは2008年にアメリカで始まった新しいかたちの地震防災訓練で、地震から身を守るための3つの安全行動（姿勢を低く、頭を守って、揺れが収まるまでじっとする）を1分間全員参加で行いました。



その他、防災クイズやストローを使ったハウスづくり、災害時要援護者疑似体験など様々な体験コーナーを回るスタンプラリーには、子ども連れの若い家族の参加が多く見られ、防災・減災への関心が若い世代へと広がりを見せていることが実感されました。

会場では防災講演会も開催されました。講演会は、2部構成で、第1部は「地域防災力を高めよう～命を守るスキル～」と題して、特定非営利法人レスキューストックヤード代表の栗田暢之さんより、緑区の地域特性を踏まえた減災について講演が行われました。



第2部では、「避難所の運営から見てくるもの」と題して、陸前高田市で避難所を運営された松野勝男さん・サカエさんご夫妻より、避難所運営の体験談とあわせて「災害時には日頃からの地域のつながりがいかに大切か」について講演が行われました。

「なかなか地域の防災訓練には参加できないが、このようなイベント型のものであれば子ども連れでも参加しやすい」「一目でわかるような展示が多く、何が必要かわかりやすい」といったご意見もいただくなど、来場者の皆さまから高い評価を得た「緑区防災フェスタ」。緑区制50周年を機に開催されたこのイベントを、防災関係機関を始めとした参加団体の連携の強化や、今後の防災・減災啓発活動へとつなげ「災害に強いまち・緑区」を目指します。

ユメリアフェスティバル

緑区制50周年を迎えた平成25（2013）年は、ユメリア徳重（緑区役所徳重支所等共同ビル）がオープンして3周年にもあたります。この節目の年を地域住民の方々とともに祝い盛り上げるため、ユメリアフェスティバルが、11月23日（土・祝）、ユメリア徳重及びヒルズウォーク徳重ガーデンズを会場に、行政4施設（徳重支所、徳重地区会館、緑保健所徳重分室、徳重図書館）とユメリア徳重で活動するボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」との協働により開催されました。

ユメリア徳重会場スケジュール

地区会館

体育室

10:00～10:30	黒石っ鼓(太鼓)の演奏 名古屋緑吹奏楽団の演奏 オープニングセレモニー
10:30～11:40	記念講演会「戦国の城を楽しむ」
11:40～12:00	「大好き緑区！みどり・ムービー・コンテスト」上映会
13:00～14:30	みどりっこ野菜料理コンテスト 車椅子シェフのトークショー
14:30～15:00	どまつりチームの演舞など
MDR23、鳴海商工会猩々、緑区制50周年みどりっち	

第2集会室

10:00～12:00	クリスマスリース作り
13:00～15:00	カルトナージュ(厚紙工作)

和室・茶室

10:30～12:00	着付体験
13:00～14:30	

第1集会室	作品展示
児童室	おはなし会
ギャラリー	緑区わがまち俳句・川柳作品展 みどり区民プラザサポーターの あゆみ展

区民プラザ

10:30～15:00	冠バッジ作り 折り紙「万華鏡」作り 押し花記念カード作り
10:30～11:30	マジックショー
12:15～13:00	ゆるキャラとのふれあい
13:00～14:30	ロビーコンサート
ユメリア徳重探偵団、緑区50年のあゆみ展、雑誌 付録の無料配布	

ルーフガーデン(屋上庭園)

10:30～12:00	野点体験
13:00～14:30	
11:00～11:45	ゆるキャラとのふれあい
13:30～14:30	マジックショー
スタンプラリー(景品交換所)、ふれあいひろば	

図書館

もっと知ろう！わたしたちのまち(緑区に関する本の展示とクイズ)

保健所徳重分室

10:00～12:00	みどりっこ野菜料理コンテスト 写真投票
保健所出張相談、リサイクル本屋さん	

ユメリア徳重入口横

J A みどり徳重やさい朝市

ヒルズウォーク徳重ガーデンズ会場スケジュール

テラス広場

10:30～11:00	黒石っ鼓(太鼓)の演奏
11:00～11:30	名古屋緑吹奏楽団の演奏
13:00～13:30	どまつりチームの演舞など
14:15～15:00	ゆるキャラとのふれあい

ヒルズコート

10:00～13:00	安心・安全で快適なまちづくり キャンペーン
-------------	--------------------------

ガーデンテラス

13:15～14:00	ゆるキャラとのふれあい
フリーマーケット、動物とのふれあい教室	

当日は、大人から子どもまで、見て・聞いて・体験して楽しむことができる様々な催しが、会場内の至る所で繰り広げられ、延べ2万人の来場者でたいへんにぎわいました。

午前10時から徳重地区会館体育室でオープニングセレモニーが行われ、ユメリアフェスティバルは華々しく開幕しました。



また、セレモニーにさきがけて披露された、黒石っ鼓の太鼓演奏や名古屋緑吹奏楽団の演奏がまつりへの期待をかきたてました。



ユメリアフェスティバル開催を記念して、織田信長やその時代の城郭研究の第一人者として知られる奈良大学教授の千田嘉博さんによる講演「戦国の城を楽しむ」が開催されました。姫路城や緑区に残る戦国の砦跡など各地の城郭についての魅力を語られ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

子どもたちが野菜をおいしく食べられ、野菜が好きになるアイデアレシピを募集した「みどりっこ野菜料理コンテスト」の最終審査が公開で行われました。第1次審査（書類審査）と第2次審査を経て決定した入賞3作品の中から、審査員7名による審査と、ユメリアフェスティバル来場者による写真投票との合計点で最優秀賞が選ばれ表彰が行われました。



審査結果を待つ間には、今回のコンテストの特別審査員をお願いした、車椅子シェフの伊藤健さんによるトークショー「夢をあきらめない」が行われました。伊藤シェフ考案による大高菜を使った料理も紹介され、来場者の方に試食もしていただきました。

区民プラザでは、「みどり区民プラザサポータークラブ」による冠バッジや押し花記念カード作り、「緑区マジック同好会」によるマジックショーなどが催されました。また、ヒルズウォーク徳重ガーデンズ会場において、フリーマーケットや動物とのふれあい教室などが開催され、多くの親子連れでにぎわいました。



会場では、ユメリアフェスティバルの一環として「徳重地区会館まつり」も併せて開催されました。このまつりは、前年に引き続き2回目の開催となり、大正琴のアンサンブルによるロビーコンサートや野点（のだて）体験など、様々な催しが繰り広げられました。



フィナーレは、緑区大好き23万人プロジェクトから誕生したダンスユニット「MDR23」と緑区内のどまつりチーム「鳴海商工会 猩々」、そして「緑区制50周年 みどりっち」3グループによる華やかな演舞の競演でした。舞台いっぱいを使った迫力ある踊りが来場者を魅了し、会場を大いに盛り上げ、50周年記念事業を締めくくるユメリアフェスティバルが幕を閉じました。



緑区学区対抗子どもドッジボール大会

緑区の未来を担う子どもたちが主役の区制50周年記念イベントとして、「緑区学区対抗子どもドッジボール大会」が、平成25（2013）年9月21日（土）、緑スポーツセンターにて開催されました。

大会は平成5（1993）年の緑区制30周年で初めて開催されたのを記念し、毎年、緑区地域子ども会育成連絡協議会（以下、「区子連」といいます）の大会として引き継がれてきました。このたび区制50周年の節目にあたり、緑区制50周年記念事業実行委員会主催の大会として、子ども会の会員に限定せず広く参加を呼びかけたところ、20年ぶりに全28学区から参加者が集まり、盛大に開催されました。各学区のチーム結成にあたっては、区子連、緑区スポーツ推進委員連絡協議会、そしてなにより区政協力委員長始め、学区のみなさんの多大な協力がありました。

大会前には、計10回の公式練習も区内各所で行われ、選手たちは他の学区と練習試合を重ねて、チームワークと闘志を高めて大会の日を迎えました。

大会スケジュール

9：15	開会式、準備体操	12：55	競技開始（午後の部）
9：50	競技開始（午前の部）	15：00	競技終了
12：10	競技終了	15：10	閉会式

当日は、優勝をめざして全学区の代表28チームが参加し、小学校5・6年生を中心に、約550人の子どもたちが一同に集いました。



試合は区子連により運営され、各学区1チーム（女子5人以上を含む17人から20人）による学区対抗のトーナメント方式で行われました。1セット5分の3セットマッチで、セットごとに内野の残り人数で勝敗を決め、2セット先取したチームが勝ち上がります。

会場には、各学区のみなさんが応援に多数詰め掛け、大きな歓声や声援が響き渡りました。子どもたちはそれに応えるように懸命にプレーし、チーム一丸となって戦いました。第3セットにもつれ込む接戦も数多くありました。



熱戦の末、優勝は滝ノ水学区、準優勝は南陵学区、3位は熊の前学区と平子学区となりました。

閉会式では、表彰が行われ尾藤宗男緑区制50周年記念事業実行委員会会長と黒川和博緑区長から、優勝、準優勝、3位のチームに賞状、トロフィー、賞品が贈られ、出場選手には参加賞が贈られました。



賞状とトロフィーを胸に抱いた選手たちの顔はとても誇らしげでした。みどりっちと並んで笑顔で記念撮影をしました。

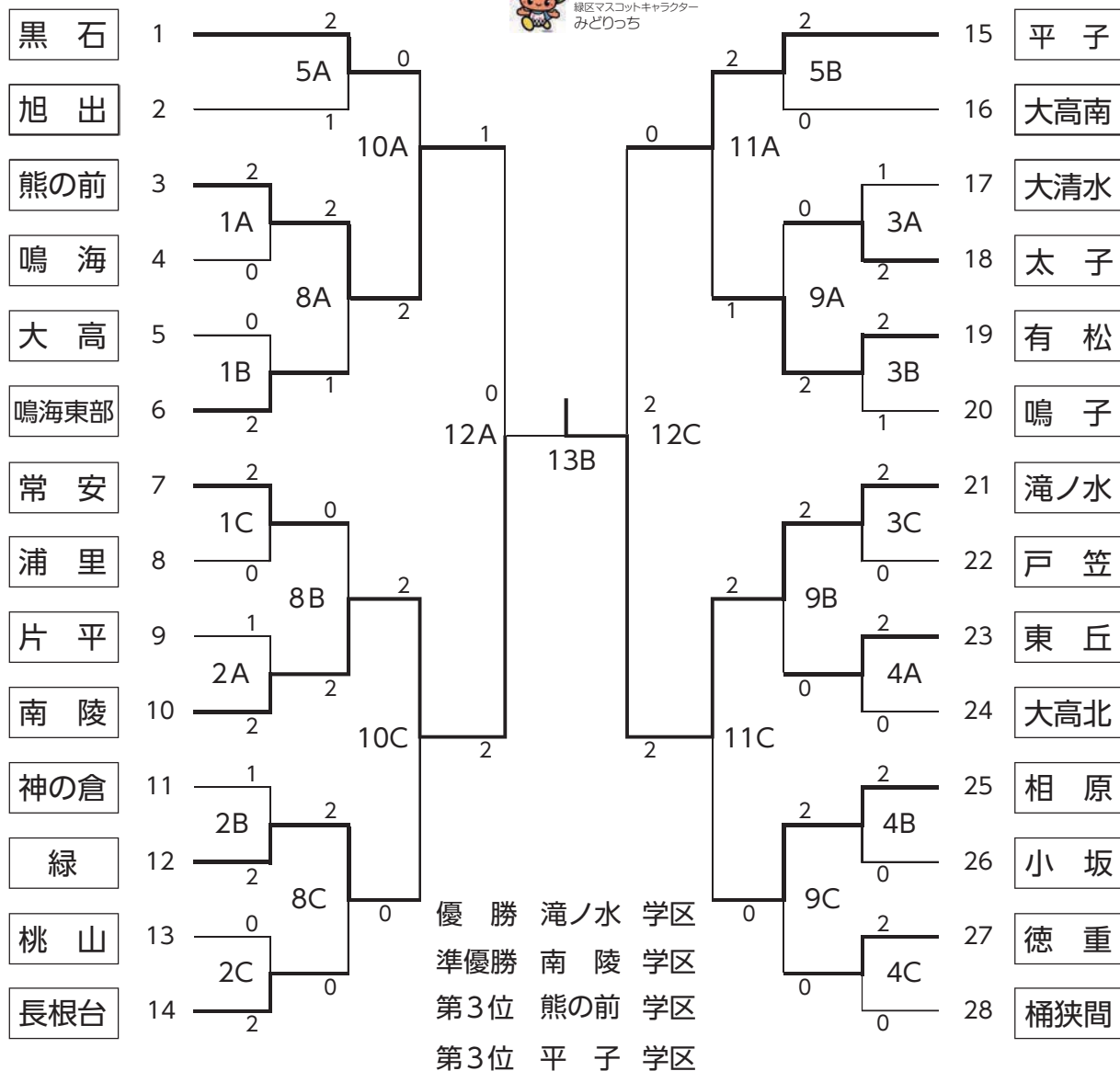
緑区制50周年記念 緑区学区対抗子どもドッジボール大会結果

平成25年4月1日
祝！緑区制50周年



緑区マスコットキャラクター
みどりっち

開催日時：平成25年9月21日（土）9:15～
会場：緑スポーツセンター 第1競技場



【15位決定戦】

